時代劇扮装や清水焼絵付け
体験学習プログラムが人気
京都 東映太秦映画村

東映太秦映画村（京都市右京区）では、修学旅行生に体験学習プログラムが人気。体験学習は修学旅行に必須のメニューとなっており、映画村では「見る・学ぶ・作る・参加する」をテーマに、京扇子、京うちわの手描き体験のほか、清水焼絵付け体験などがある。

班別研修用には、少人数用のメニューとして、映画村ならではの「お手軽時代劇扮装」がある。メイク、かつらを省いて着物の着付けのみのお手軽プラン。短時間で変身し、映画村の江戸の町を散策できる。

村内もリニューアルでアトラクションが次々と登場している。時代劇や忍者をテーマにしたものが充実した。

「レーザーミッション 脱出の城」は、武将・織田信長が支配する架空の魔城から八つの罠を突破して脱出する体験型アトラクション。城の中は一本橋やスライダーなどのアスレチック、プロジェクションマッピングで演出される不思議な空間などの仕掛けがある。

「からくり忍者屋敷」は、9月15日～12月2日の期間限定で、謎解きゲームとコラボした特別イベントを実施。参加者は謎の暗号を手渡されて、からくり忍者屋敷に潜入。屋敷内のからくりに潜む暗号を解読しながら進まなければならないので難易度がアップ。

手裏剣道場では、忍者の得意な武器である手裏剣投げに挑戦できる。伊賀流手裏剣を的に向かって投げられる実践道場。

第5回「伊賀流手裏剣打ハイスコア選手権」が開催中で本格手裏剣5投の合計でハイスコアを目指す。季節ごとに優秀者を決定し、賞状と記念品がもらえる。さらに年間グランドチャンピオンには伊賀上野観光協会の協力で、伊賀特産品が贈られる。ランキングも随時、映画村ホームページで発表している。

さらに、年間を通して数々の人気ゲーム・アニメーションとコラボレーションした期間限定の特別イベントも開催している。9月29日から12月2日までは人気ゲームキャラクター「刀剣乱舞―ONLINE―」のゲームの世界を再現。フォトスポットやオリジナルボイス、コラボフードなど盛りだくさんのイベント。12月以降も話題作とのコラボイベントが多数企画されているので楽しみだ。

パンフレットの郵送、申し込みなど体験学習に関する問い合わせは東映太秦映画村☎075（864）7716まで。

お手軽時代劇扮装

からくり忍者屋敷

伊賀流手裏剣打ハイスコア選手権

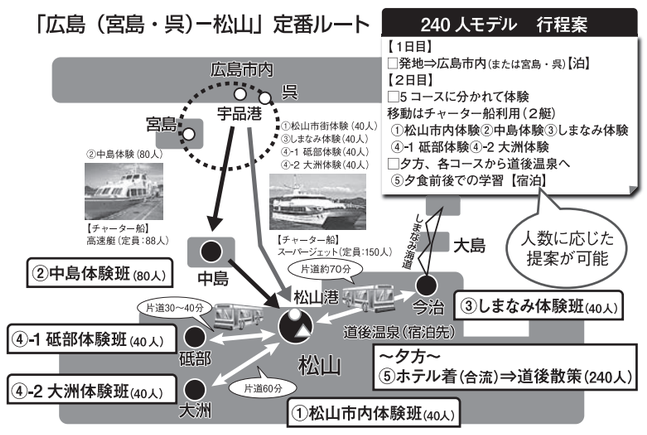
今、最も注目される教育旅行先
広島・瀬戸内海・松山 新定番ルート

今、最も注目される教育旅行先が、広島・瀬戸内海・松山の組み合わせだ。「平和学習」や「世界遺産を通した学習」など教育旅行の定番の地「広島」。これに瀬戸内海クルーズや島々での体験、道後温泉、しまなみ海道、多くの俳人や文学作品を輩出した松山や、砥部焼（伝統工芸の里）、清流肱川（大洲）を舞台とした多彩なテーマ別交流体験メニューを組み合わせた教育旅行が人気で、広島・瀬戸内海・松山のルートが新たな定番ルートとなっている。松山市のサポートが万全なのも、人気の理由だ。

チャーター船利用で効率的な移動

愛媛県外から松山市を訪れるには、海路や陸路などさまざま。松山市では、多様なモデル作りに取り組んでいる。その一例が、「広島―松山ルート」（240人モデル）。広島・松山間を最短68分で結ぶチャーター船を利用し、スムーズに移動することで、自由度の高いコース設定や充実した体験が可能。穏やかで晴天率の高い瀬戸内海での運航率は、ほぼ100％と計画が立てやすく、安全で快適な瀬戸内海クルージングを満喫できる。

「広島（宮島・呉）ー松山」定番ルート



多彩なテーマ別体験交流メニュー

日本最古の湯

日本最古といわれる道後温泉のシンボル「道後温泉本館」は、ミシュラングリーンガイドジャポンで最高評価の三つ星を獲得している。泉質はアルカリ性単純温泉で肌に優しい美人の湯。加温加水していない源泉100％かけ流しは、全国でも例をみない特別な温泉だ。

道後温泉本館は、保存修理工事中で、現在入ることができないという誤った情報があるが、本格的な保存修理工事は、2019年1月15日以降の着手を予定している。

しかも、営業をしながらの工事を予定しており、工事期間中も入浴可能だ。工事中だからこそ楽しむことができる魅力的な取り組みも予定している。

また、昨秋に、日本最古といわれる温泉にふさわしい飛鳥時代をイメージした湯屋がコンセプトの新たな温泉施設「道後温泉別館　飛鳥乃湯泉（あすかのゆ）」が道後に誕生し、早くもにぎわいを見せている。

道後温泉別館　飛鳥乃湯泉

日本の城ランキング3位

江戸時代以前に建造された天守は、全国でも12しか残っていない。その「現存12天守」の一つである松山城は、「連立式天守」「登り石垣」など防御に優れた特徴を持つ難攻不落の城と言われる。世界最大級の旅行口コミサイトが発表した「旅好きが選ぶ！日本の城ランキング2017」では、第3位に輝いた。

「俳句」でまち歩き

俳人・正岡子規を輩出した松山ならではの体験として好評なのが、まち歩きを意味する「ハイク（歩く）」に、「俳句」を取り入れた「松山はいく」のメニュー。俳句作りに精通したまち歩きガイドと松山・道後の歴史や文化に触れながら、道後温泉や松山城など市内各所を吟行体験できる。

散策中もガイドの俳句づくりのサポートがあるので、初心者でも俳句を詠むことが可能だ。

その後、夕食時の宴会場で行われる句会ライブは、「某テレビ番組の辛口俳句先生のように講師が巧みな進行で、楽しく生徒、先生の俳句を評価し、会場は笑顔で包まれる」（松山市産業経済部観光・国際交流課）。生徒の隠れた才能が明らかになると評判だ。

松山城で俳句体験

和文化・温泉文化を体験

松山市が推奨する道後温泉周辺の宿泊施設や道後商店街とも共同して体験メニューを開発している。

一つは、和文化体験。夕食前後の時間を利用し、会席料理やお座敷マナー、食育など約15分の研修は、時間を有効活用し、研修率もアップできると好評だ。

そして、もう一つは、温泉文化体験。明治の雰囲気漂う道後温泉本館を中心に散策し、特別料金で人力車に乗車でき、本館前で集合写真も撮影。また、正岡子規を輩出したまち「俳都松山」にちなんで、散策中に俳句をつくり、特設のポストに投句すると、後日、最優秀句にみかんジュースが贈られるといった特別イベントも行っている。

道後周辺の旅館に宿泊したほとんどの学校が採用している人気メニューが、道後商店街の夜の散策である。散策中の安全確保は、市職員やホテルスタッフがサポートしてくれる。

道後商店街で夜の散策

瀬戸内海の島々で体験

みかん王国・愛媛を牽引してきた瀬戸内海に浮かぶ中島。チャーター船を使えば、広島から約1時間で直接上陸できる。

地元保育園児による歓迎に始まり、延長500メートルの美しい姫ヶ浜ビーチでの投げ釣り体験、昼食は瀬戸内の新鮮な海鮮を使用したバーベキューが人気だ。みかんの収穫時期は10月から5月までの約8カ月間で、農家から収穫方法を学んだ後、収穫体験ができる。

中島でみかんの収穫体験

また、松山市内から車で1時間で、しまなみ海道の愛媛側玄関口今治市に到着する。定番メニューは、世界唯一の橋上サイクリング。瀬戸内海の島々を眺めながらの爽快なサイクリングは世界から注目を集めている。

そして、昼食の海鮮バーベキューや、観潮船での急流体験を行うことによって、自然の力、雄大さを体感する。

松山周辺地域とも連携

松山市内から車で30分。隣町の砥部町にある「とべ動物園」は、日本初の人工哺育に成功したホッキョクグマ・ピースで有名。動物の自然な生態が見られる行動展示型で西日本最大級の規模を誇る。

ここでは、飼育員から地球温暖化や森林伐採など環境問題や、獣舎裏の体験学習などができる。

また、大洲市を流れる清流「肱川」では、ミシュラン一つ星の臥龍山荘や大洲城を眺めながら、カヌー体験を行い、自然を満喫することができる。

◇　◇

松山で「本物の体験」「将来に生きる体験」を通して「感動」「教訓」、そして「最高の思い出」を作ってほしい。

しまなみ海道を渡る橋上サイクリング

― 協力 ―
松山市産業経済部観光・国際交流課
〒790-8571　愛媛県松山市二番町4-7-2
TEL089-948-6558　FAX089-943-9001
教育旅行専用HP
おいでんか 四国松山　検索

平成30年7月豪雨により被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。
全国の皆さまからご心配をいただいていますが、松山市内の観光施設については、現在も通常通り営業しています。また、愛媛県内の修学旅行用体験メニューについても、受け入れ可能ですので、安心してお越しください。
被害に遭われた皆さまの一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
松山市産業経済部　観光・国際交流課

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
震災の記憶と教訓を後世に

神戸市中央区の「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」は、その名称の通り、阪神・淡路大震災の記憶と教訓を後世に伝えるために2002年に開設され、例年約50万人が来館する災害ミュージアムだ。

阪神・淡路大震災発生の瞬間の再現映像「5・46の衝撃（1・17シアター）」、復興に至るまでのまちと人の様子を描いたドキュメンタリードラマ「このまちと生きる（大震災ホール）」などの映像上映の他、被災者から提供された実物の震災資料の展示を行っている。

これからの防災、減災を学ぶためのワークショップスペースもあり、耐震構造や液状化について学ぶ実験コーナーや、防災ゲームなどが用意されている。災害への備えをリスト化した、人と防災未来センターオリジナルの「減災グッズチェックリスト」は展示フロア内で無料配布されており、また同センターホームページからダウンロードも可能だ。

また、昨年8月には津波をテーマとした展示エリアがオープンし、「巨大地震による津波の脅威のガイダンス映像」「負荷のかかる歩行装置で水圧がかかる中での歩行がいかに困難かを体感する津波避難体験」「南海トラフ地震による被害想定パネル展示」などが追加された。発生が懸念されている「南海トラフ地震」についても展示が拡充されているので、今後の備えを考えるきっかけとしたい。

昨今、日本だけでなく世界各地で甚大な被害をもたらす自然災害が数多く起こっている。いつでも、どこでも、誰でも、災害に遭う可能性があるからこそ、過去の災害を知り、そしてこれから起こりうる災害への備えを学ぶ場として活用してほしい。

自治体の防災への取り組みギャラリー

津波避難体験コーナー

長野県、平成28年度の学習旅行
来訪学校数が5％増加

長野県観光機構は、平成28年度「学習旅行実態調査」の結果をこのほど発表した。県外からの学習旅行の来訪学校数は計4593校で、前年度の4378校に対して4・9％増加。来訪した延べ児童・生徒数は計86万3862人で、前年度の85万1876人に対して1・4％の増加となった。

調査は学習旅行誘致対策などの基礎資料とすることを目的とし実施している。

学校の区分別に来訪学校数と延べ児童・生徒数を見ると、小学校が8733校（対前年比1・6％減）、12万7744人（同6・3％減）、中学校が1843校（同14・1％増）、34万3199人（同9・0％増）、高等学校が1877校（同0・1％増）、39万2919人（1・9％減）だった。

宿泊地別の延べ児童・生徒数＝表＝は、小学校では1位が「その他の上田地振管内」（構成比21・1％）で、2位が「志賀高原・北志賀高原」（同18・6％）、3位が「その他の佐久地振管内」（同11・3％）だった。中学校は1位「菅平高原」（同25・3％）、2位「志賀高原・北志賀高原」（同20・5％）、3位「その他の佐久地振管内」（同5・3％）。高等学校では1位「菅平高原」（同37・1％）、2位「志賀高原・北志賀高原」（同27・5％）、3位「その他の佐久地振管内」（同6・9％）の順となっている。

調査対象期間は平成28年4月1日から29年3月31日まで。

宿泊地別延べ児童・生徒数の状況（上位5位）

（単位：人、％）

順位	小学校 宿泊地名（昨年度順位）	28年度（構成比）	対前年度増減 対前年度比	中学校 宿泊地名（昨年度順位）	28年度（構成比）	対前年度増減 対前年度比
1位	その他の上田地振管内 (1)	26,968 (21.1)	△ 3,651 △ 11.9	菅平高原 (1)	86,700 (25.3)	2,220 2.6
2位	志賀高原・北志賀高原 (2)	23,741 (18.6)	3,916 19.8	志賀高原・北志賀高原 (2)	70,389 (20.5)	12,294 21.2
3位	その他の佐久地振管内 (3)	14,385 (11.3)	△ 938 △ 6.1	その他の佐久地振管内 (3)	18,025 (5.3)	△ 88 △ 0.5
4位	菅平高原 (8)	11,176 (8.7)	4,890 77.8	白馬山麓・八方尾根 (4)	17,070 (5.0)	1,687 11.0
5位	軽井沢高原 (4)	8,949 (7)	△ 3,689 △ 29.2	南信州 (13)	16,676 (4.9)	8,820 112.3

順位	高等学校 宿泊地名（昨年度順位）	28年度（構成比）	対前年度増減 対前年度比	合計 宿泊地名（昨年度順位）	28年度（構成比）	対前年度増減 対前年度比
1位	菅平高原 (1)	145,750 (37.1)	△ 4,442 △ 3.0	菅平高原 (1)	243,626 (28.2)	2,668 1.1
2位	志賀高原・北志賀高原 (2)	108,125 (27.5)	11,659 12.1	志賀高原・北志賀高原 (2)	202,255 (23.4)	27,869 16.0
3位	その他の佐久地振管内 (3)	26,915 (6.9)	1,811 7.2	その他の佐久地振管内 (3)	59,325 (6.9)	785 1.3
4位	野尻湖・黒姫高原 (4)	20,502 (5.2)	△ 501 △ 2.4	その他の上田地振管内 (4)	43,330 (5.0)	△ 6,168 △ 12.5
5位	その他の諏訪地振管内 (5)	18,008 (4.6)	△ 540 △ 2.9	野尻湖・黒姫高原 (6)	37,274 (4.3)	△ 1,191 △ 3.1

（注）その他の上田地振管内：東御市、美ヶ原高原など
菅平高原以外の上田地域振興局管内
その他の佐久地振管内：白樺高原、川上村など
野辺山高原、軽井沢高原以外の佐久地域振興局管内
その他の諏訪地振管内：諏訪市、富士見高原など
蓼科高原・白樺湖・車山高原以外の諏訪地域振興局管内

東京スカイツリーと千葉工業大
最先端技術のアトラクション

東武タワースカイツリーが運営する東京スカイツリー（東京都墨田区）は、隣接する東京スカイツリータウンの東京スカイツリーイーストタワー8階にある千葉工業大学・東京スカイツリータウンキャンパスと連携し、体験型の修学旅行を誘致している。

同キャンパスは、研究活動を通じて生まれた最先端技術を応用した体験型アトラクションゾーンで、未来体験ツアーを提案する。

未来体験ツアーは、300インチの巨大スクリーンによる宇宙の誕生から現在までの138億年を大迫力の映像と音響で紹介する3Dシアターからスタート。その後、エリア1に移動し、福島第一原子力発電所に投入されている災害対策ロボットの操縦の実演や、人工知能が約30万枚の写真を学習した結果を可視化できるコーナーなどを体験。エリア2では、惑星探査研究の成果を応用したアトラクションなどを体験する。約1時間のコースとなっている。ツアーガイドは、同キャンパス館長の金子和弘氏をはじめ、千葉工業大学で学ぶ学生が務める。

ツアー料金は無料（東京スカイツリー展望台入場料金は必要）。期間は、11月15日から来年3月15日までと来年6月15日から7月15日までの平日。

申し込み・問い合わせ先は、東京スカイツリー団体予約センター☎03（3626）0634。

災害対策ロボットを操縦する金子館長

JATA
海外教育旅行セミナー
10月20日・東京、12月12日・大阪で

日本旅行業協会（JATA）のアウトバウンド促進協会は、将来の国際人材の育成を目指し、「2018年海外教育旅行セミナー」を10月20日に東京で、12月12日に大阪で開催する。テーマは「新学習指導要領に対応した海外教育旅行とは？」。

東京大学高大接続研究開発センター協力研究員で聖心女子大学教授の益川弘如氏が「新学習指導要領！　大学入試改革にどのように対応するか？」と題して講演。文部科学省初等中等教育局国際教育課の加藤賢一氏が、文科省と民間企業とが協働で行う留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」について説明する。

そのほか東京会場では、埼玉県立草加高等学校前校長で全国修学旅行研究協会国際担当部長の木田一彦氏が「明日に向かってチャレンジ！　高校生の海外研修（教育旅行）」と題して講演。一方、大阪会場では、関西大学講師で関西大学第一高等学校・第一中学校教諭、入試広報主任の大西隆氏が「主体的・対話的になるために～『外国人になる』ことの大切さ～」をテーマに語る。

パンフレット